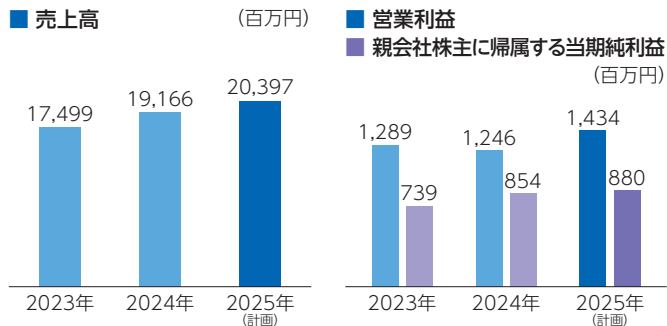
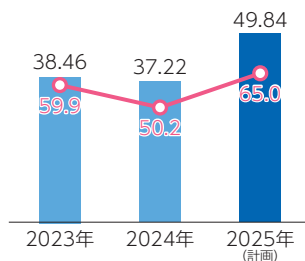


## Financial Data 財務データ



## 株主の皆さまへの還元方針

■ 1株当たり配当額(円)  
○ 配当性向(%)



目標配当性向

50% → 65%以上

株主還元策の一環として  
自社株式を取得

## 会社概要 (2024年12月31日現在)

社名 GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社  
GMO GlobalSign Holdings K.K.  
創立 1993年12月  
代表取締役 青山 満  
資本金 9億1,690万円  
決算月 12月  
従業員数 993名(単体:367名)  
本社所在地 〒150-8512  
東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー  
TEL 03-6415-6100(代表)

GMOグローバルサイン・ホールディングス ir 検索

<https://www.gmogshd.com/ir/>



## 株主各位

東京都渋谷区桜丘町26番1号  
GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社  
代表取締役 青山 満

## 第32回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、2025年3月19日開催の当社第32回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

- 報告事項**
- 第32期(2024年1月1日から2024年12月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件  
本件は、上記の内容を報告いたしました。
  - 第32期(2024年1月1日から2024年12月31日まで)計算書類報告の件  
本件は、上記の内容を報告いたしました。

## 決議事項

- 第1号議案** 定款一部変更の件  
本件は、原案のとおり、承認可決されました。
- 第2号議案** 剰余金の処分の件  
本件は、原案のとおり、承認可決されました。  
期末配当は、普通株式1株につき37円22銭となります。
- 第3号議案** 取締役(監査等委員である取締役を除く。)6名選任の件  
本件は、原案のとおり、青山満氏、熊谷正寿氏、中條一郎氏、池谷進氏、安田昌史氏及び秋山ゆかり氏の6名が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

## 期末配当金のお支払いについて

第32期期末配当金のお支払いについては、同封の「第32期期末配当金領収証」により、払い渡しの期間(2025年3月24日から2025年4月30日まで)内に、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

口座振込をご指定の方には、同封の「配当金計算書」及び「配当金の振込先のご確認について」を同封いたしましたので、ご確認くださいようお願い申し上げます。

なお、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「第32期期末配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や、確定申告の資料としてご利用いただけます。

# GMOグローバルサイン・HD GlobalSign PRESS

## 株主の皆様へ

## 認証技術を中心にデジタル社会の成長を支える存在を目指す

平素より、当社へのご支援とご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちの会社は、“コトをITで変えていく”という理念のもと、ITサービスを通じて新たな体験価値を提供し、持続的な成長を目指しております。

2024年度は、電子契約サービスやGlobalSignブランドの電子証明書発行サービスがグローバルに堅調に伸長しました。また、AIを活用したクラウドサービスや、CloudCREW by GMOの販売も順調に拡大し、企業のDX推進を強力にサポートしています。

私たちは、社会の変化に対応し、成長に向けた新たな事業を創出することにも積極的に取り組んでいます。

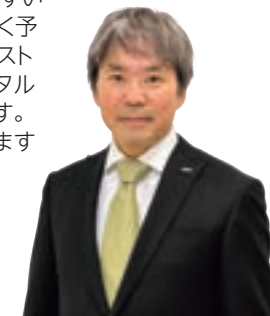
今期より、メールなりすまし被害を減少させる認証マーク証明書サービスをスタートいたします。これにより、企業や個人のメールの信頼性を高め、安心してコミュニケーションを取れる環境を提供いたします。

また、インターネットのセキュリティ脅威が増大する中、フェイク画像問題への対策として、電子透かしサービスの実現を目指しています。

今後は、AI、IoT、ブロックチェーンといった先進技術に加え、量子コンピュータ時代にも対応可能な認証技術を開発・提供することで、より安全で使いやすいサービスをグローバルに展開していく予定です。「信頼できる認証」と「高いコストパフォーマンス」を両立させ、デジタル社会の成長を支える存在を目指します。

引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役  
青山 満



## コトをITで変えていく。 - なくてはならない企業へ -

2022年12月期から2026年12月期までの5カ年を長期的な企業価値向上のための土台構築期といたしました。当社の事業領域である「電子認証・印鑑事業」「クラウドインフラ事業」「DX事業」をそれぞれ「重点成長分野」「持続成長分野」「次期成長分野」と位置づけ、提供サービスと体制基盤の強化を図ってまいります。

### 電子認証・印鑑事業 重点成長分野

国内シェアNo.1のSSLを中心とした  
各種電子認証サービスを提供



#### ① 「eシールアプリ byGMO」の販売開始

インストールするだけで電子署名、eシール、タイムスタンプの付与が可能になるアプリケーション「eシールアプリ byGMO」の販売を開始いたしました。

#### 事業計画 ① メールロゴ認証証明書 [VMC] 提供開始

メール開封前に確認できる認証済みのブランドのロゴ表示によって、なりすましメールやブランドイメージの毀損を防ぐメールロゴ認証証明書[VMC]を今期より提供開始いたします。



#### 事業計画 ② デジタルコンテンツの信頼性に関する標準化団体「C2PA」参画

来歴証明によってデジタルコンテンツの信頼性を担保する電子透かし技術の標準化団体「C2PA」に参画し、公開鍵暗号基盤のノウハウを提供しております。



### GMOトラスト・ログイン

#### ① 「FIDOパスワードレス認証」をリリース

生体認証の国際標準規格「FIDO2」に対応したことで、パスワードレスであらゆるクラウドサービス及びwebシステムへの一括ログインが可能になりました。

### 積極的売上拡大と収益性改善

圧倒的No.1のストックサービスへの基盤固めとグローバル拠点の継続的な成長実現を目指すべく、経営資源を集中し成長循環の活性化に取り組んでまいります。

### 電子印鑑なら GMOサイン

#### ① 国際認証「SOC2 Type2 保証報告書」取得

情報のセキュリティおよび可用性の内部統制環境に関して、継続的な信頼性を保証する国際セキュリティ認証「SOC2」において、「Type2 保証報告書」を取得いたしました。



#### ② 処分通知の電子交付に「GMOサイン電子公印」が対応

昨年11月、「GMOサイン電子公印」が処分通知への電子署名に加えて、電子交付についてもデジタル庁が推奨する方法に則った運用が可能となりました。唯一両対応のサービスであることから、既に多くの自治体様からお引き合いいただいております。

#### ③ GMOサインの主要KPI



※電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数  
GMOリサーチ&AI株式会社調べ(2024年12月)

こちらからブランディングサイトをご覧ください

<https://www.gmogshd.com/overview/certification-authority>

### クラウドインフラ事業

重要な安定収益源である「CloudCREW byGMO」の売上拡大に向け、引き続き組織体制およびカスタマーサクセスの強化に努めます。

① 世界有数の診断技術を有するグループ企業  
「GMOサイバーセキュリティ byイエラエ株式会社」と連携し、包括的なサポートを実現



### DX事業

#### ① 「hakaru.ai点検API」が点検業務ロボット「ugo mini」に搭載



#### ② 「おみせポケット」, 「stera market」において提供開始

オールインワン決済端末「stera terminal」専用のアプリマーケット「stera market」での提供を開始。加えて新機能「いつでもクーポン」の提供を開始するなど、アクセシビリティを大幅に向上させることで、to C市場での事業規模拡大を推進しています。

